

自然科学書フェア 2019

令和最初の自然科学書フェアは、未来屋書店りんくう泉南店にて、5月11日から7月15日までの約2ヶ月間に渡り開催しています。同店は、関西国際空港がある大阪府泉南市内のイオンモール2階に位置し、300を超える同チェーン店の中でもトップクラスの売上げを誇る店舗です。

未来屋書店では、このフェアをきっかけにグループ全体で専門書の品揃えを更に充実させたいと、開催を希望されました。

フェアは44の会員社より1,175点1,584冊の出品を得て展開いたしました。開催1ヶ月前にはポスター・チラシ・しおりを作成してお客様へ告知し、また、開催初日の読売新聞朝刊に、16社から成る連合広告を掲載するなどして周知を図りました。

棚構成は、基本の5ジャンルの他に、地域性や最新のキーワードを意識した7つの小テーマを設けて、来場者の興味・関心を引くよう工夫しました。黄色で統一したポスター、看板、インデックスと装飾は、ひと際目を引く空間を創出しました。



会期半ばの6月14日には、書店との合同勉強会を開催しました。未来屋書店では、この勉強会を社員教育の一環と位置付けて、他店の店長やマネージャーなども含め17名が参加しました。5名のフェア委員が、各ジャンルの最新のトピックやキーワード、棚の分類や売り方などについて、熱のこもったプレゼンを行い、最後は時間が足りなくなるほどでした。参加者からは「大変勉強になりました。これを機に専門書の理解を更に深めて棚づくりに活かしたい」と感想をいただき、双方にとって有意義な会になったと感じました。



勉強会の後には、理事長・理事が売り場を訪問し視察を行い、マネージャーや店長らと、専門書の販売状況や互いの業界事情について、意見や情報を交わされました。

あらためて、出品にご協力いただいた会員社の皆様に御礼申し上げます。また、次回の自然科学書フェアにもご協力を賜われますようお願い申し上げます。

(販売・出展委員会 山内 裕)

